

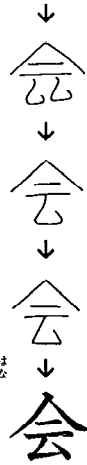
会

二年

画数 6
筆順

カイ・エ
あひう

成り立ち



いえのかたちをあらわした「会」と、「鼻(ばな 3年404)」のかたちをあらわした「ム」とをくみあわせてつくった字です。

「いえのなかで、人が「鼻」をつきあわせて「あう」こと」をあらわした字です。

また、「人のあつまり」といういみにつかわれます。「会社」「学会」「議会」など、「そしきされた」人のあつまり「」のいみにつかわれます。

〔本字は「會」で、集まる意味の「ム(ム)」と、増の意味の「胃」との会意字であるが、二年生には理解しがたいであろう。〕

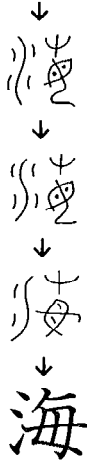
海

二年

画数 9
筆順

カイ
うみ

成り立ち



「母」といういみにつかわれた「毎」と、「水」といういみをあらわす「シ」とをくみあわせてつくった字です。「海」は、「生み」といわれていますように、すべての「生きもの」を「生み」出した「母」ということができます。それで、「母」といういみの「毎」と「シ」とで「うみ」をあらわしました。

〔海の音がカイであるから、晦の意味の「毎」と「シ」との会意・形声字と考えられる。「黒い水」という意味で、「うみ」を表したものであろう。わが国で「黒潮」の語があり、中国でも「玄海(黒い海の意)」の語がある。しかし、わが国の「うみ」はやはり「生み」であり、その意味で、毎を母と解くことは理に適っていると思う。〕

使い方

▽きのう、ゆたかくんに会ったら、おでこにごぶができていました。いそいでいて、きょうしつのドアにぶつけたのだそうです。あんまりあわてると、けがをします。

▽おとうさんは、きのう、かえりがおそくなりました。会社で会議があったのだそうです。

▽まいしゅう水よう日に、先生がたのしよくいん会議があるそうです。

熟語例

▽会社(に)二人(に)いじょうの人があつまって、しようばいなどをするそしき。みんなのおとうさんが、まいにちでかけて、おきゆうりようをかせいでくるところです。いまは、おかあさんも会社に行くことが、おおくになりましたね。

▽会議(が)一人(ひと)があつまって、あるもんだいについて、はなしあうこと。

▽議会議員があつまって、会議をするところ。とくに、「国の議会」は「国会」といいます。ほかにも県や市や町や村などの議会もあります。

使い方

▽グラスボートのふなごころから、ふかい海水をおして海底がはつきりと見え、水草のひらひらするあいだを魚がおよいでいるのを見えました。

熟語例

- ▽海水(うみ) (海の水)
- ▽海底(うみ) (海の底)
- ▽水草(うみ) (海の中に生えている草)
- ▽海岸(うみ) (海の岸。岸は「水ぎわ」)
- ▽海外(うみ) (「海の外」といういみのことばで「外国」のいみにつかいます。例 海外旅行(うみ) 外国旅行)
- ▽海峡(うみ) (峡は「山と山に挟まれたところ」。陸に挟まれた狭い海)
- ▽海流(うみ) (海の流れ。海の水はきまったほうこうに流れています。この流れを海流といいます。)
- ▽航海(うみ) (航は船をすすませること。船で海をわたること。)
- ▽領海(うみ) (領土にふぞくしてその国のものとかんがえられるはんいの海)
- ▽公海(うみ) (公共の海。領海でないところの海)